

2022登山道整備事業

日時：2022年11月12日(土曜日)
場所：奥祖谷二重かずら橋～丸石 徳島県三好市
参加者：佐藤孝雄 三野和哉 新居智次 松原安行 平田健治
大崎吉見



四国山岳ガイド協会2022年度事業計画に則り、登山道整備を実施いたしました。

今回の整備対象区間は徳島県の奥祖谷二重かずら橋から丸石までの登山道内のかずら橋から約1キロの区間。

谷間に沿ってつけられた登山道は、下の沢へ転落するリスクがあり、それを防ぐために以前から危険箇所にはロープが設置してあったが、老朽化や、設置が行き届いていない箇所があったため、これらロープの掛け替えと補強を中心とした整備を行った。



紅葉に囲まれたかずら橋を渡って現場に向かう。

作業当日は晴れ。徳島県三好市の奥祖谷二重かずら橋駐車場に8時に全員集合。

今回作業に当たるのは総勢6名。作業現場に向け出発。

今回の作業ポイントは大きく分けて3ヶ所あり、まず最初に一番奥の作業ポイントまで移動(地図のポイント1)。

作業を進めながら集合場所に戻っていく計画だ。

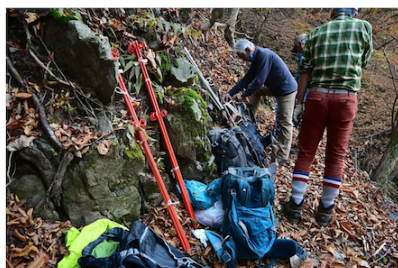


8時半ごろポイント1に到着。

作業手順など軽く打ち合わせした後、各自阿吽の呼吸でそれぞれの持ち場で分担作業を行う。

事前に用意しておいた鉄の杭を山肌に打ちこんだり、丈夫な立ち木を選んで支点を構築してから新たに用意した登山用ロープを必要な長さにカットして固定。ロープの張り加減など微調整に時間をかける。

述べ3ヶ所の整備と倒木の除去など無事に終え、12時過ぎに集合場所の駐車場に戻った。



一番奥のポイント1の場所から整備に取り掛かる。用意した資材や道具を準備。



倒木をノコギリで切断し、登山道の足場を利用する。また、太い木を選び支点を作る。



斜面に鉄の杖を打ち込むが、地中の岩に阻まれて杖がなかなか入っていかない。



構築した支点にクライミングロープを設置する。



ポイント1の各地形の場所の整備完了後の様子。
細いトラバースの道に手すりできました。



上は作業前の様子。ポイント1の中間にある老朽化した橋の場所。



作業完了後の様子。
写真では見えないが、橋の奥は先に整備した谷地形の場所。
この谷地形の場所に設置したロープを老朽化した橋をさらに越えて繋げる事ができた。



こちらはポイント1の最終部分（かずら橋に近い方）の作業前の様子。

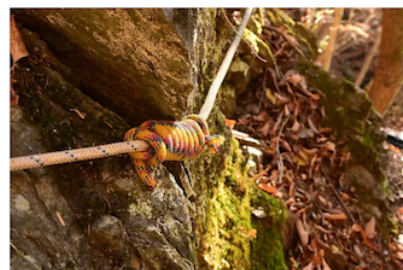


作業後の様子。鉄の杭を多数使用してロープを張った。

ここは冬の雪が春になると溶けて斜面の土が流される事が予想されるため、
写真上方向にある立ち木ニヶ所から、流れどめの補助ロープを張って補強している。



上方向から引っ張って補助ロープが地面ごと流されないようにした。



岩角でロープが擦れるところも補強。



ポイント2の様子。古い補助ロープを全て取り替えた。



途中の倒木もノコギリで除去。



ポイント3は小さな沢を渡渉する場所で、こちらにも補助ロープを設置。
岩肌の崖上部から支点を取った。



無事作業を終えてかずら橋の料金所まで戻ってきた。

奥祖谷二重かずら橋から丸までの登山道は、
剣山周辺のメジャーなルートにしては荒れてきていたため、
長らく整備が望まれていた場所であった。

今回の整備で、特に危険と思われる場所は以前に比べると
安心して通行できるようになった。

しかし、以前から設置されている橋の老朽化や
今後も予想される激しい気象状況によって
登山道の整備は今後も継続的に行わなければならない。

安全に楽しく登山できる環境を維持すべく今後も活動を続けていきたい。



駐車場にて紅葉を背景にみんなでランチタイム。

お疲れ様でした！